



茶畑ヴァエの
TS 短篇集 2



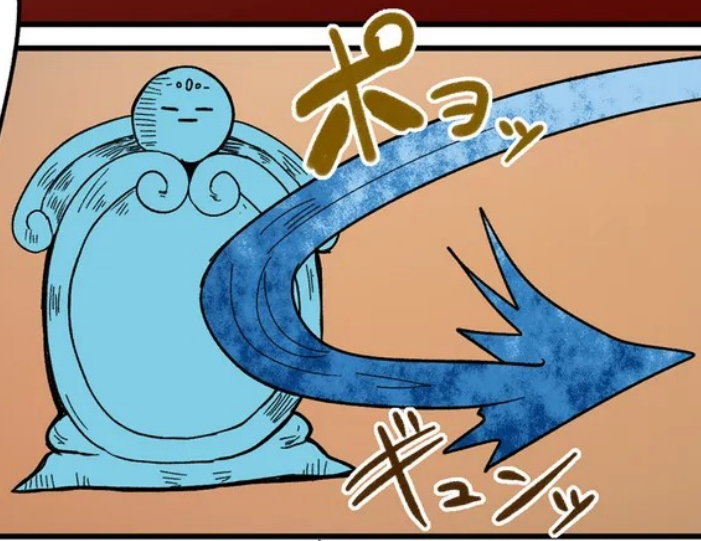
これで終わりだ!

ギャオオオオ!!!

いけー!
スーパードラゴン
アルティメットダークドラゴン!

トラップカード発動!
「ガーディアンミラー」

その攻撃を
全て跳ね返すわ



ポッ

キュッ



Life 0

LIFE 0000

キーン



ぐあああ!

ギアアア





くっ…

こんな姿にして…
何がしようって言うんだ…!!

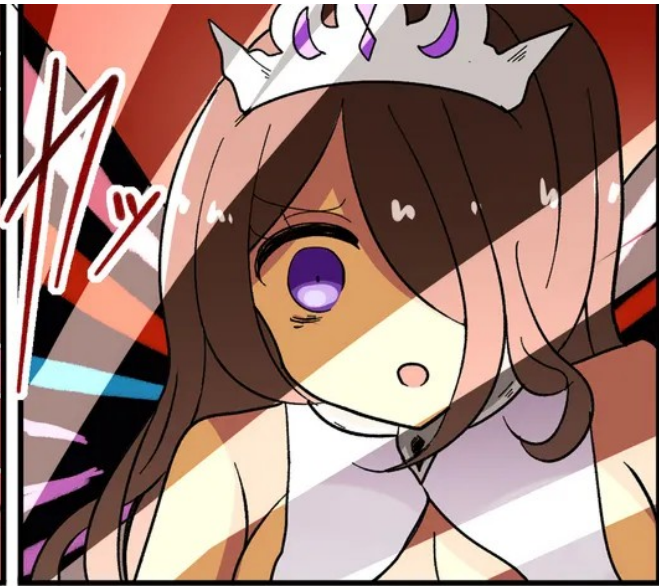
あなたには
私のカードに
なってもらおうわ



empty

そうはさせるか!
そのカードを寄越せ!





数日後



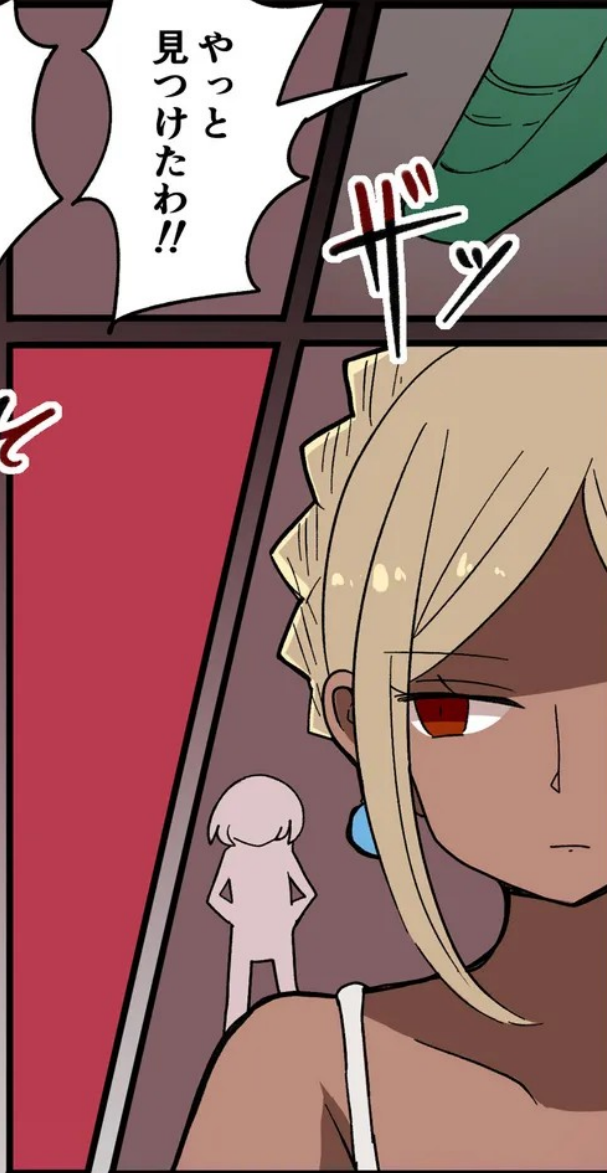
やっと
見つけたわ!!

コリーに
何をしたの!

グッ

グッ

あんととの
デュエル以来
行方不明なのよ!



望むところ……!

グッ

私に勝てたら……
いや私と闇のデュエルを
したら教えてあげられるかも



グッ

はあはあ…
この女…強い…

ふふ
そろそろ
コリーに会わせて
あげましょうか

え…

「妖精姫コリー・シー」を召喚!

!?



あなたのお友達は
私のクリーチャーに
なったの

可愛い妖精サンのね

そんな…
ウソでしょ…
クリー!

ご主人様

あの子はだあれ?

アタシ知らない

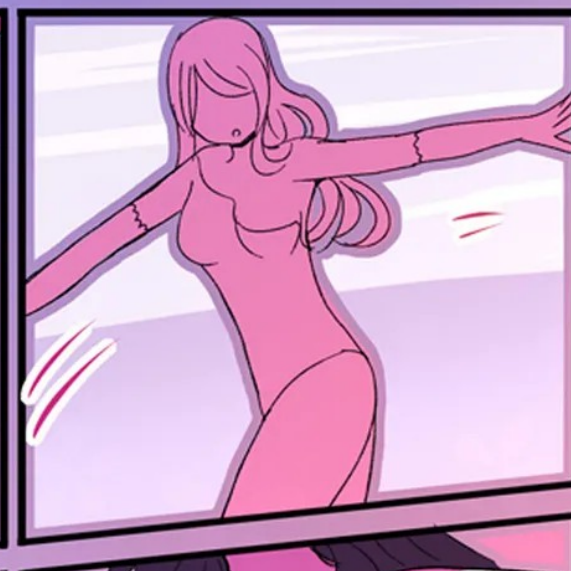
嘘でしょ…

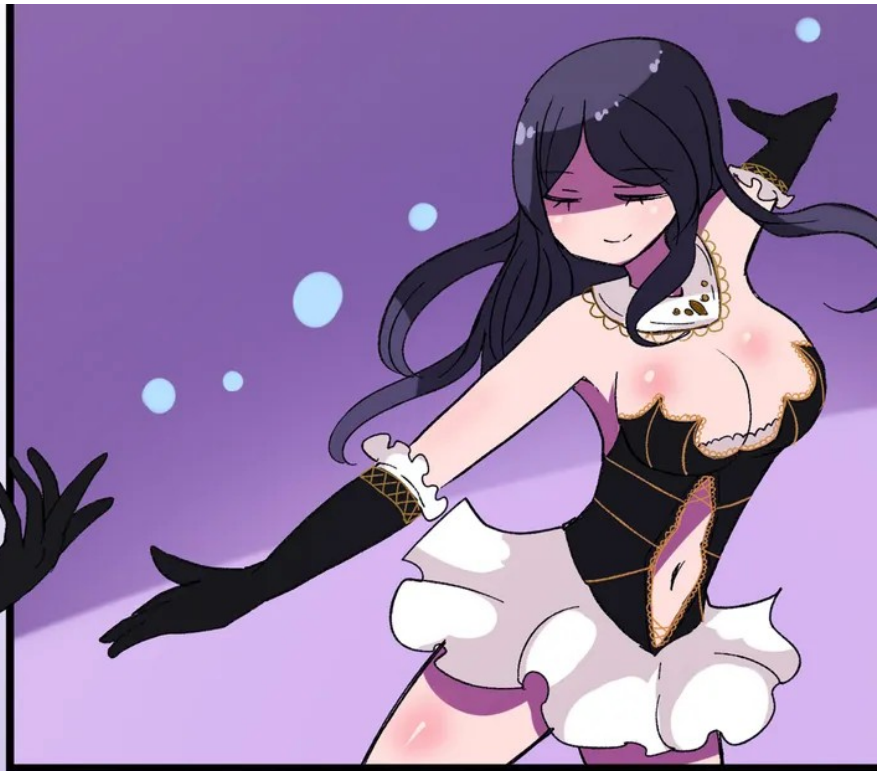
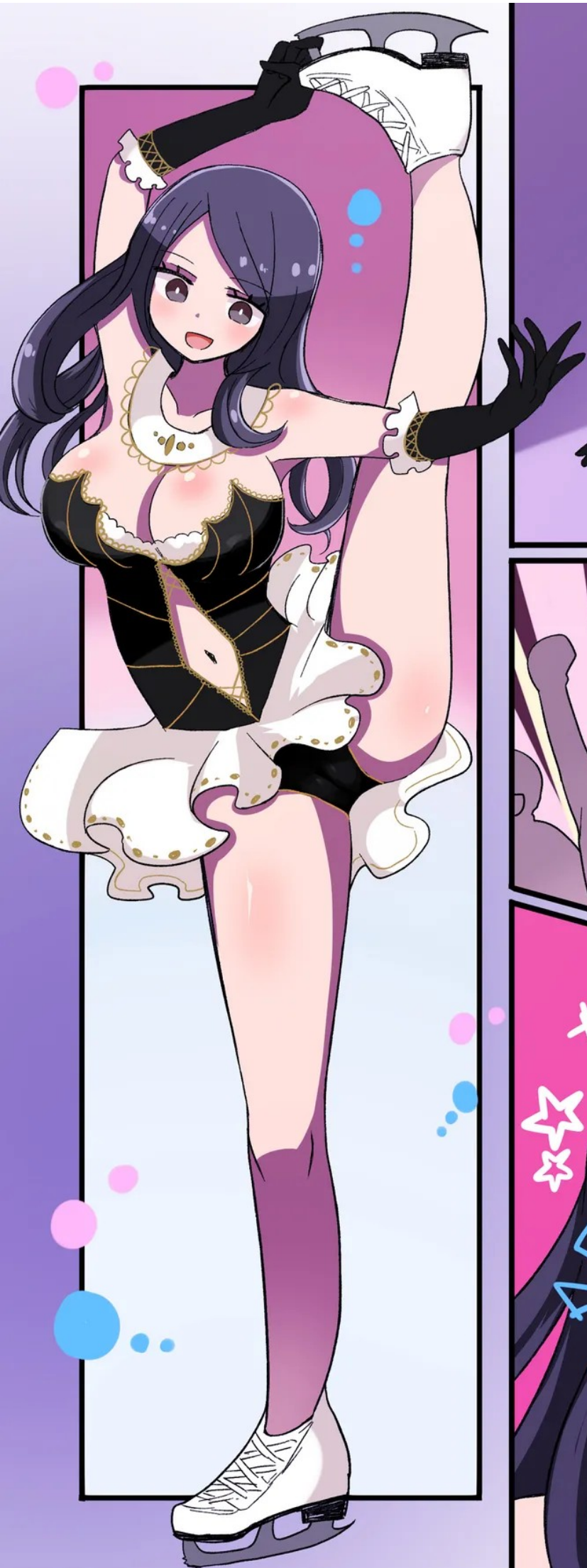
ウツウツ

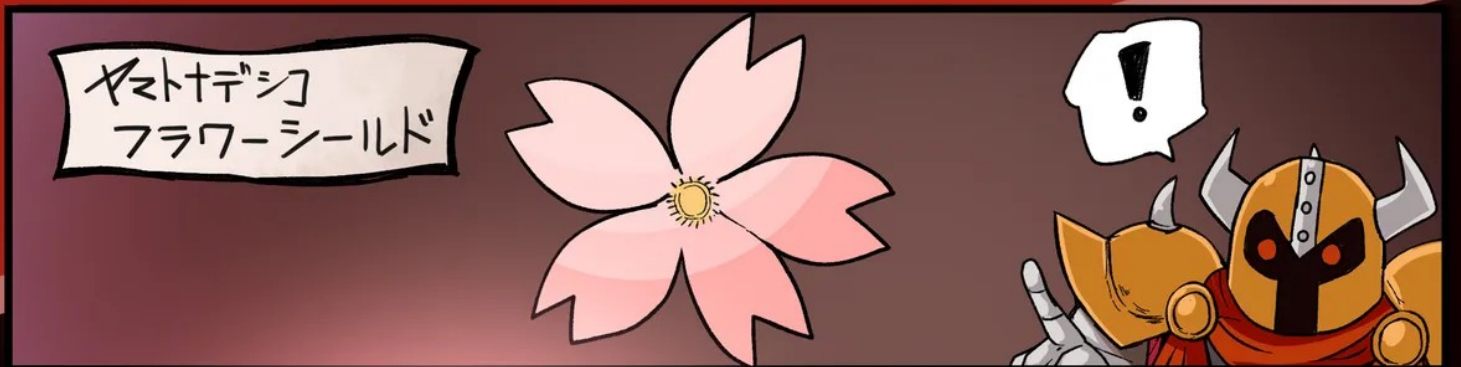
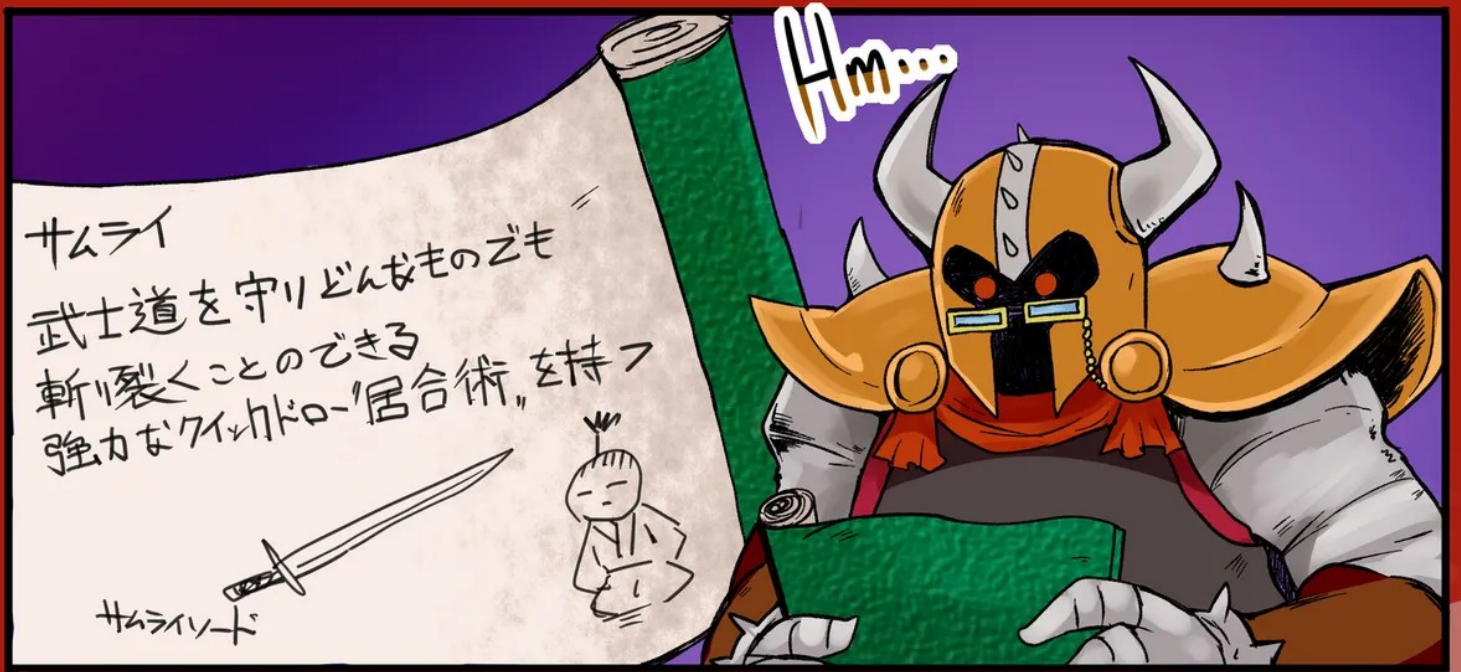
ウツウツ…

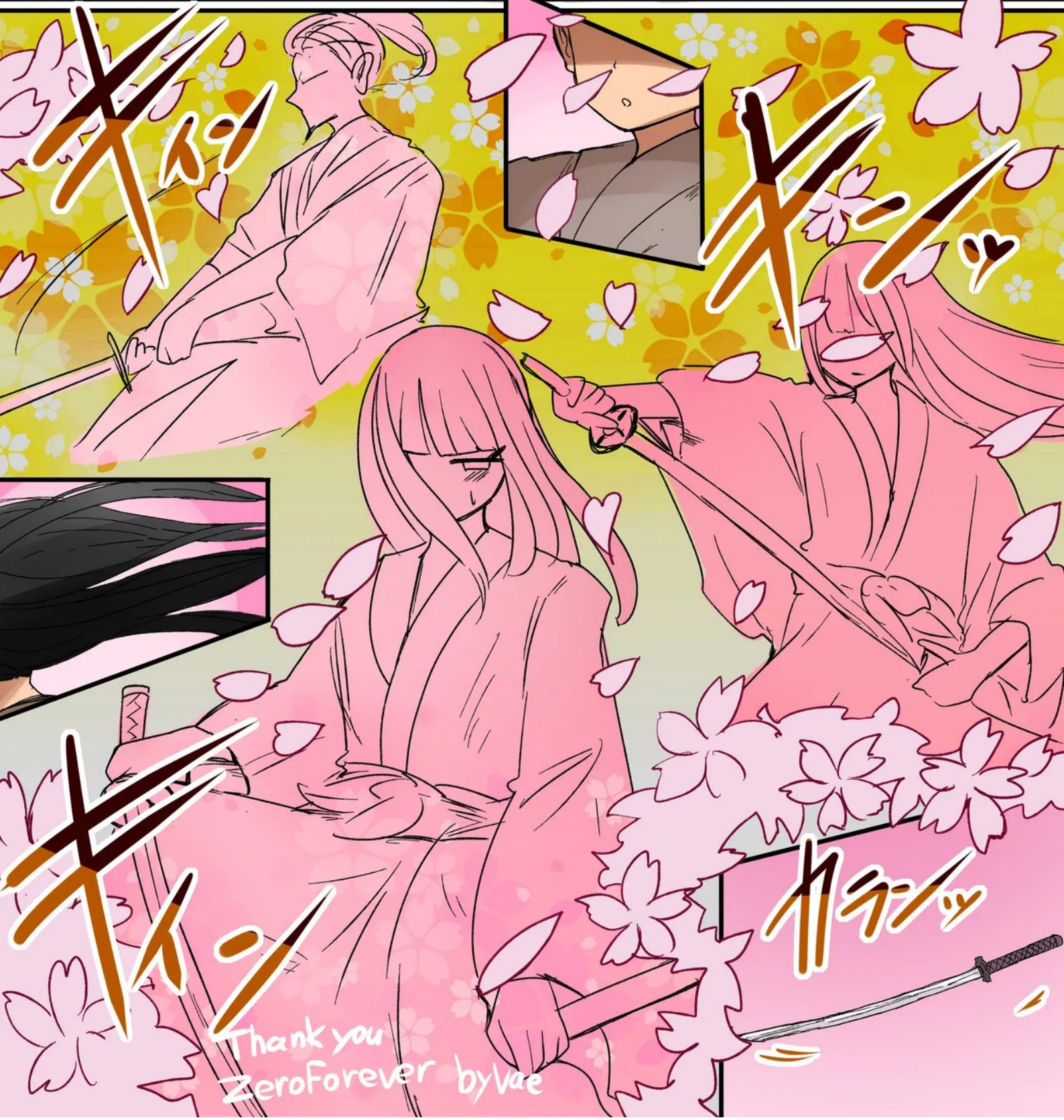
安心して
あなたも
すぐに仲間に
してあげる♡











Thank you
ZeroForever byvae

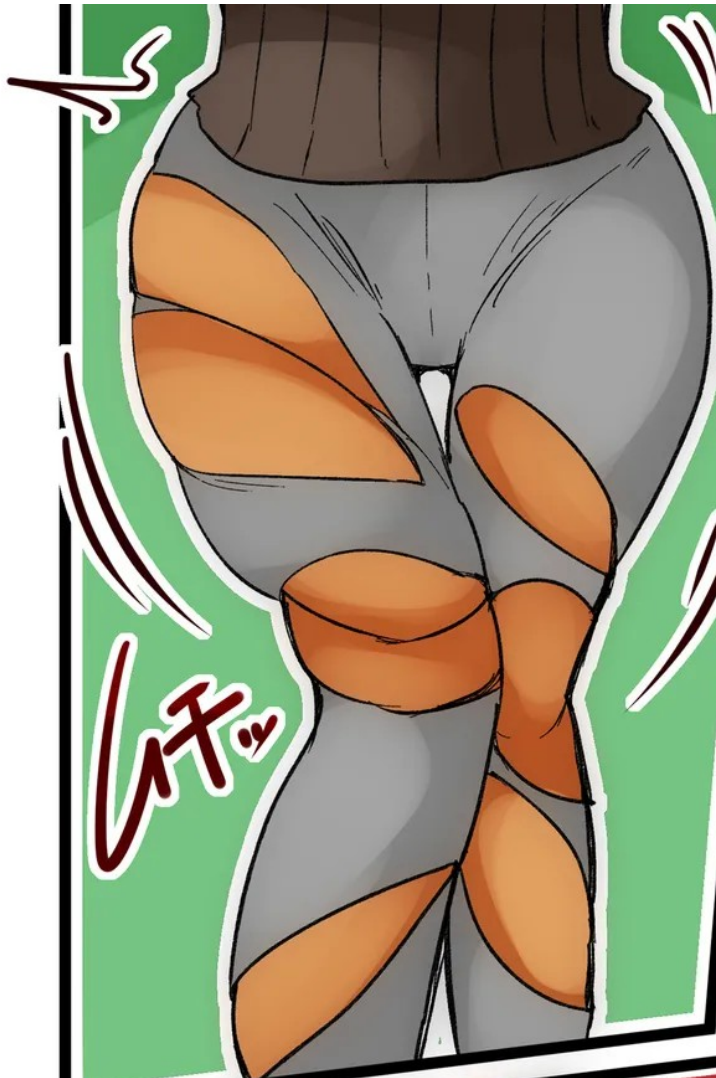


ヤマトナデシコ
サクラアルラウネ



E N D







!?

たっ

470..



うわ…
ほんとに
女になった…

まじかよ
きつしよ

フー…

えーんが
ちよ!

ふーん
エツ
ちゃん

まさか…
本当だとは

お…おい
大丈夫か!?

いてて…

ガッ

恋がはじまる予感☆

あ…

聞く話によれば…

女体化注意

この看板を建てたのは
この森の奥に住む
呪術師らしい

一線を超えてしまった
俺 木下と
いじめられっ子
玉置は

木下



玉置

森の奥の呪術師に
会いに行くか
迷っていた

でも…
その呪術師さんに
会っても…

男に戻れるかは
わかんないんでしょ？

はあ？
そんなんぶん殴って
戻させるに決まってるだろ

野蛮だよ
木下くんは
今女の子なんだよ

はあ〜？

ざっけんなよ
俺は男だ
行くぞノロマ

まっ-



だんだん
暗くなってきたね…
まだ昼だよ…

ドキ
ドキ

ああ
うるせーな!

そもそもほんとに
いるのかな…
そんな人

このまま帰る
わけにはいかねーだろ!

どうやって
説明すんだよ!
こんなこと

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

わかんないけど…

警察とかの人に
検証してもらえば
僕らが性転換したこと
わかってもらえるかも

そしたら
戻れないけど
女の子として
暮らしていけば…

それが
イヤだ!
つってんだよ!



ドキ
ドキ



おわっ...!!

って

ぼむん



...!!



な...なんじゃこりゃ...

ずっしり...



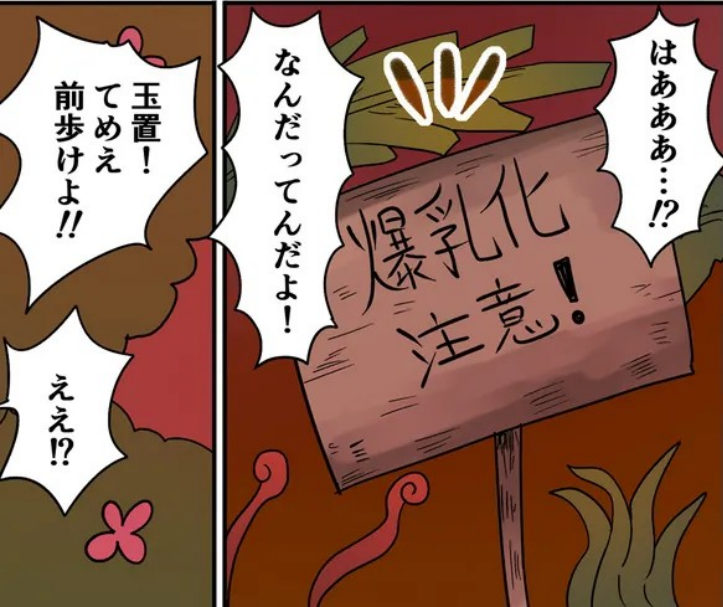
あ...木下くんこれ...!



胸が...

すご...おっきい...

ゆさ



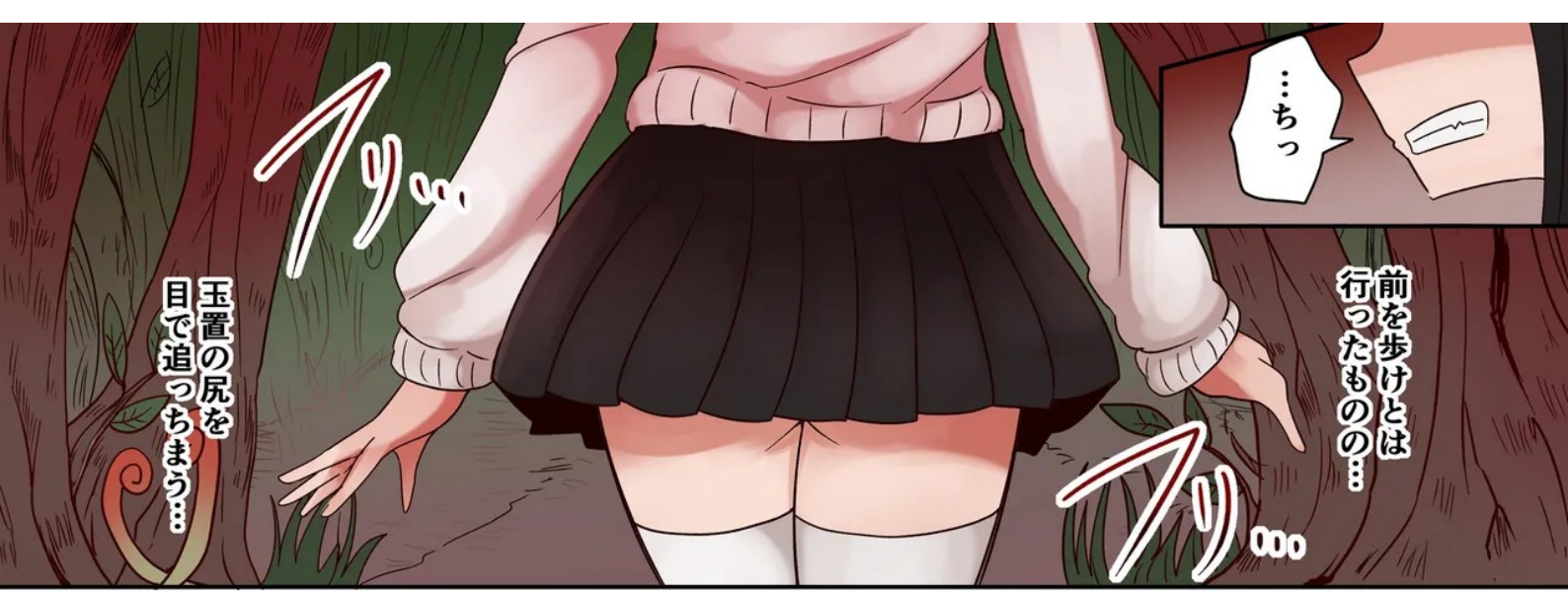
はあああ...!?

なんだってんだよ!

爆乳化注意!

玉置! てめえ前歩けよ!!

ええ!?



…ちっ

前を歩けとは
行ったものの…

玉置の尻を
目で追っちまう…



こんな短い
スカート
履きやがって…

こいつは元々
女顔だから
印象があんま
変わってないのに…

それでも
女を意識させる
服装、恰好
その姿に目を奪われる

パンツが見えないか
期待してる…
自分がイヤになる

こんな森の奥で
二人ぎり…
俺が男のままだったら
犯してるだろうな…



おい…
なんだよ…



キスッ♡



ヒッ



てか
胸が重さ…!

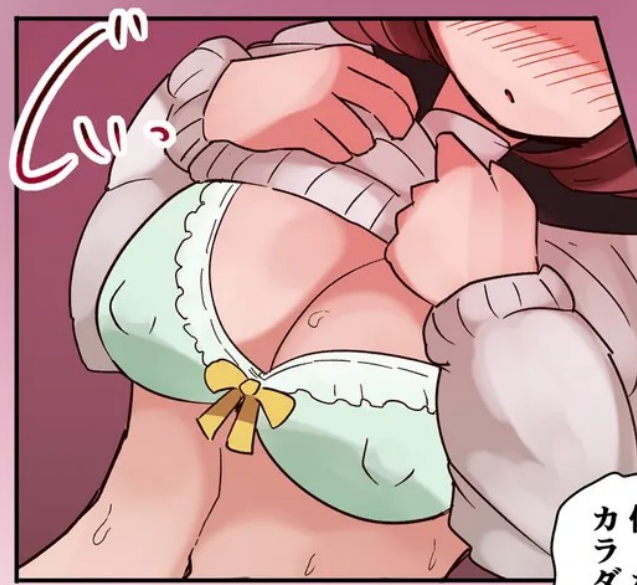
なんで俺だけ
こんな目に…

ざっけんな
マジで

キスッ♡



おい…
なにしてんだよ!



きゅん♡きゅん♡

僕…なんだか…
カラダが…変かも…

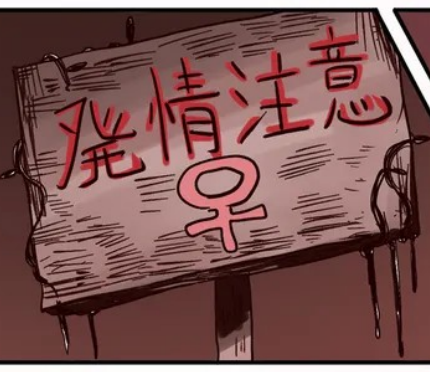


木下くん…

んんん♡

んん♡

んん♡

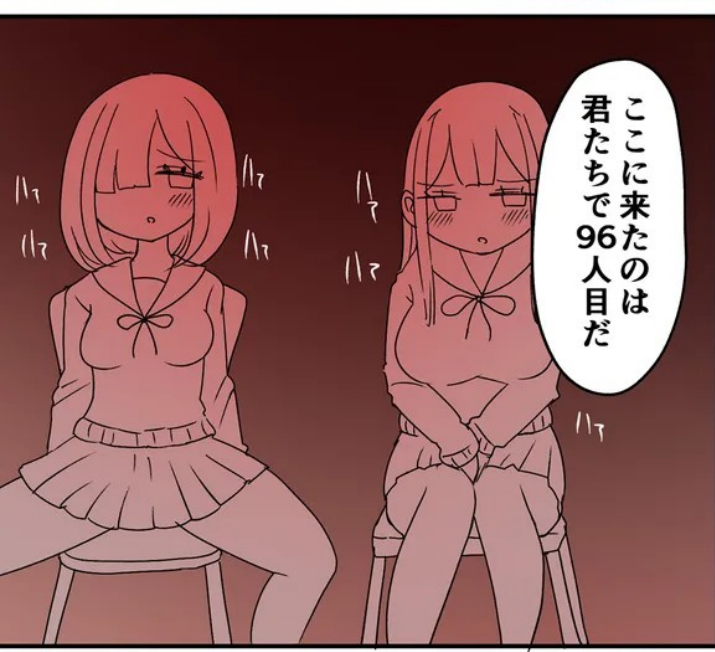


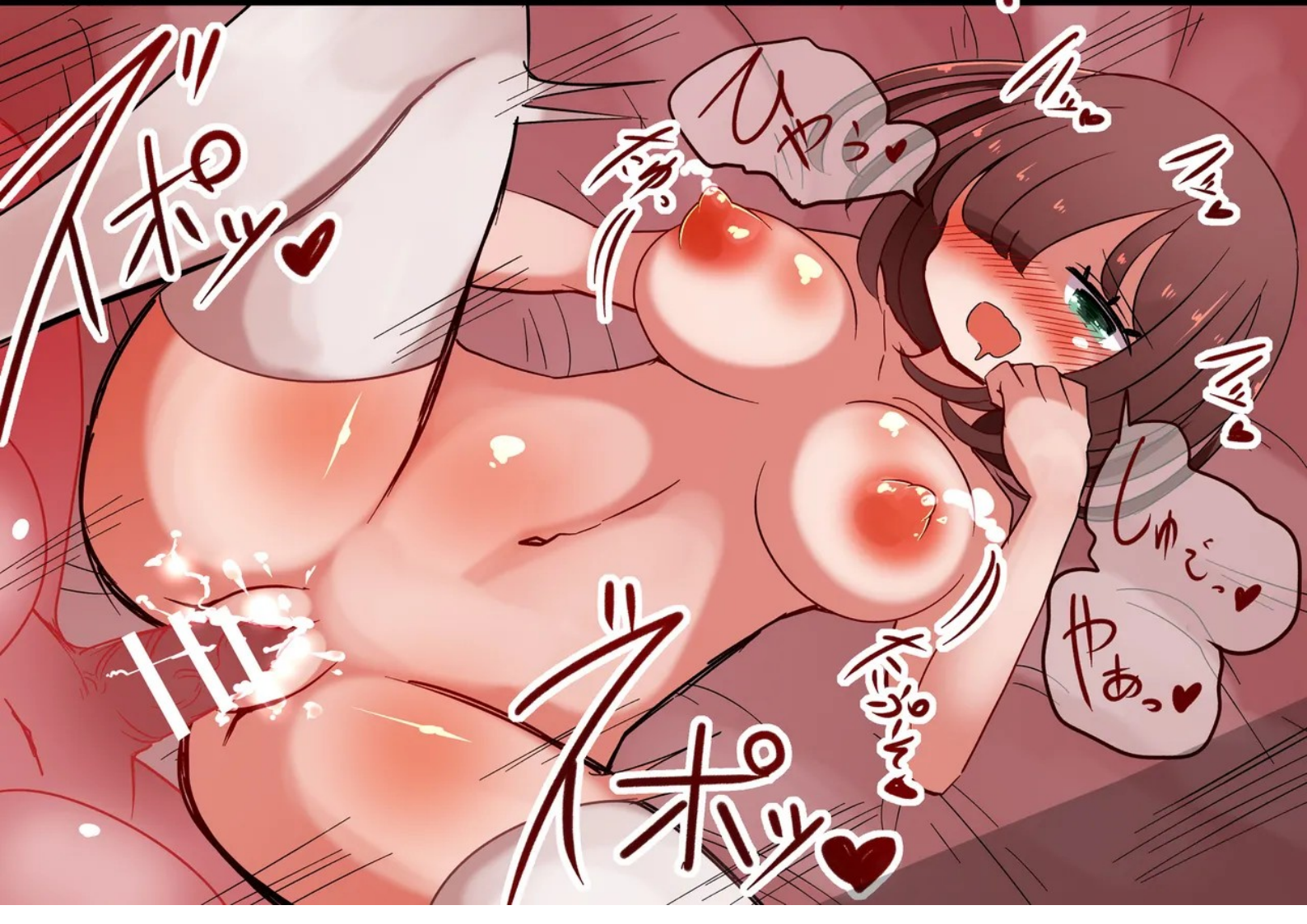
そして
女体化に注意
しなかったことを



俺は後悔した

森に入ったことを





おい!
こんな服しか
ねえのかよ!

馬鹿じゃねえのか!
痴女じゃねえか!

おまたが
じんじんする...

君はイキがいいな

んんん

それは
ただの下着だ

しかし痴女か...

一回きり女のセックスを
しただけで自分が女で
あることを認めたのかね

どうだったね
マンコにチンポを
ぶちこまれる感じは?

...っせーよ...

あの...
僕たちは
どうなるんですか



君たちの元の体の傀儡を死体に見立てて森の外へ捨ててくる

君たちは事故で死んだことになる

ここで暮らしていきたまえ

もちろん女として…だが

私の実験に参加すれば賃金も与える

村の中には商店もある

望むなら外からの買い物もできるし

案外暮らしやすいよ

ただし

森からでるなら君たちを本当に処分しなければならぬ

これを機に気を付けたまへ

女体化注意の札にはね

ドクン ドクン

干支じじい

そのオーブには
今年の干支の力が
秘められている

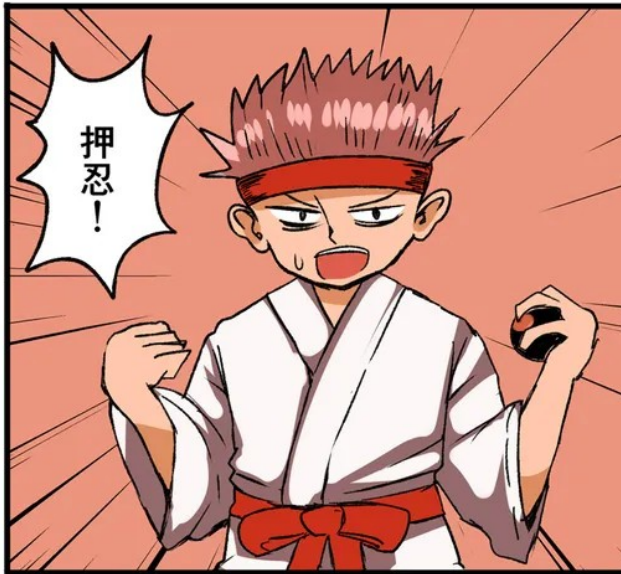
オーブの力を
解放して変身するのじゃ



え…



押忍!



悪の猫軍団を
成敗するのじゃ!

解放!



わからん

あ…はい



これじゃ戦えないっすよ



なんで乳牛なんすか!?

そうじゃの

師匠これ
乳牛っすよ!?





どうすれば
いいんすか!?

アッ



師匠：
母乳がッ!!

いや牛乳が
止まらないっす!!



ふむ…

俺が吸って
やろうか?



嫌っすよ!

どうやって変身解除
するんすかこれ…



だからそれが
無理なんすよ!

甘えるな!
やってみなきや
わからんじやろう!



おそらく
猫軍団を
倒せば役目を
果たしたオーブが
自然と抜け出ていく
じやろうな…



無理だった

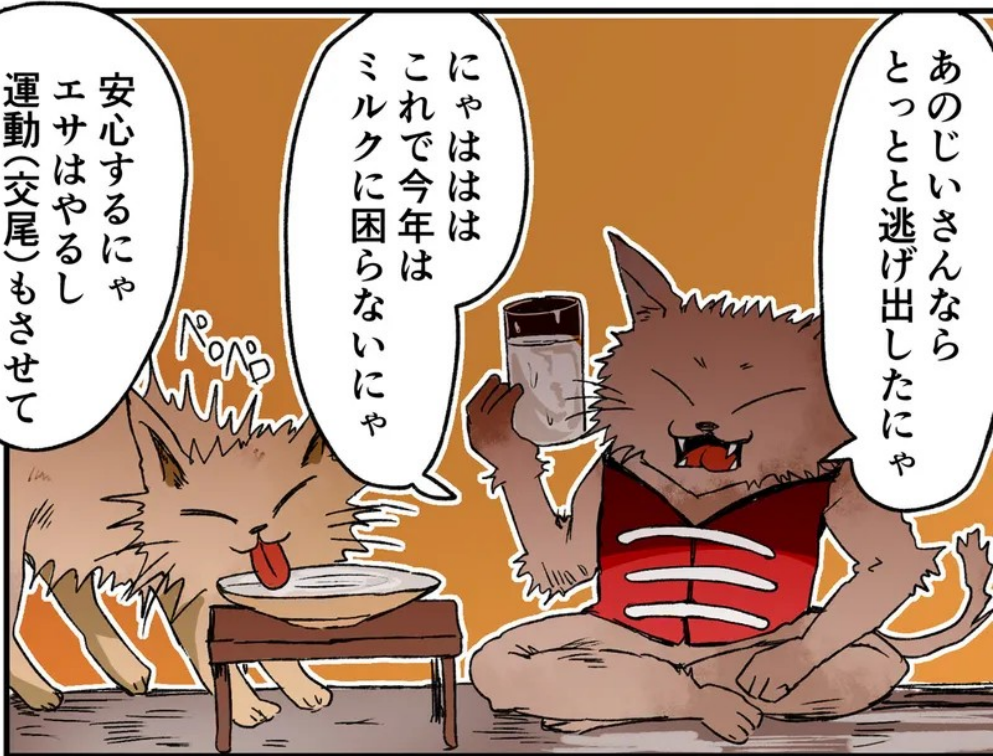
やっぱり無理だった
じゃないっすか！

師匠
たすけて！



もぉ~~~~!!!

安心するにや
エサはやるし
運動(交尾)もさせて
やるにや



にやははは
これで今年は
ミルクに困らないにや

あのじいさんなら
とっとと逃げ出したにや

一週間後

気持ちええにやあ

ハアハア...
もうダメっす...

おまんこ
こわれちゃうっす...



おい...
次は俺に
ヤラせるにや

むっ...





うにゃああああ!!

おっ

にゃんじゃ
こりゃああああ!!



くらえ
猫軍団!

アアアア

このオーブの
光を浴びた猫は
猫耳娘となる...



ふっ...
弟子を見捨てる
わけないじゃろう



師匠!
来てくれたんすね!

師匠
オレ…いつ男に
戻れるんすかね

丑年が終われば
戻れるはずじゃ

ちゅん

あと半年は
このままって
ことっすか!?

この胸じゃ
生活しにくいっすよ!

むに♡

定期的に
搾乳しないと
いけないし

儂が吸ってやろう

それに
肩が凝って…

それも修行じゃ

びゅん…

しかしお前
学校はどうした？

修行せんのなら
学業に励め

師匠…

わかってない
っすねえ…

制服が
ピッチピチなんすよ！

角と尻尾も
生えてるし！

ああっ

また搾乳
しなきゃ…

女子用の
制服買ったのか？

← 干



こんなところに
神社が…



あ…どうも…



よくきたのう
人の子よ

俺はこの神社に
住まう狐じゃ



って尻尾!?

本物…?

僕は寂しかった…

誰もこないこの神社で
悠久の時を過ごした

幼馴染のように
いっしょに遊び学び
過ごす者が欲しかった

だから小僧…

お主には僕の
幼馴染になってもらう

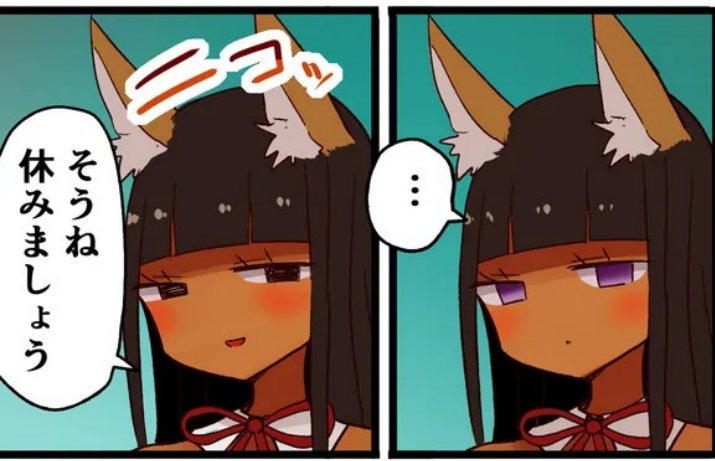
なっ…

え…

ばゆんッ

ッ…





私は狐巫女の狐狸子 こりこ

同じく狐巫女のお姉さまと一緒に
辺境の神社で暮らしています

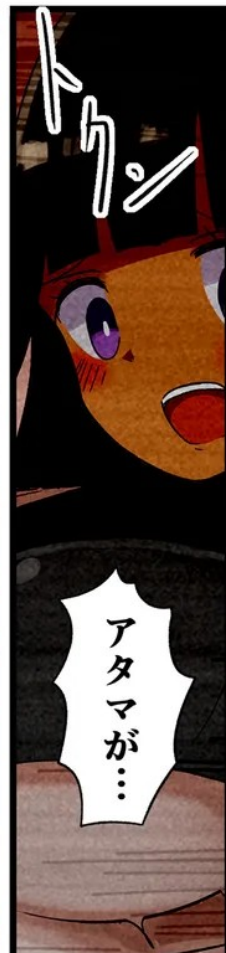
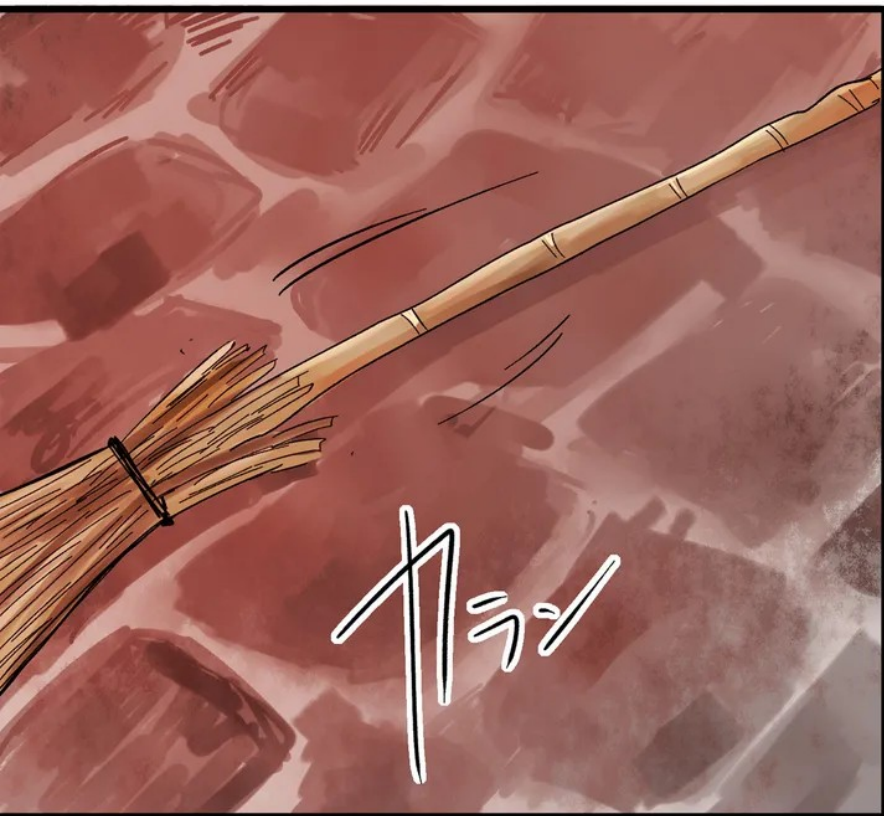


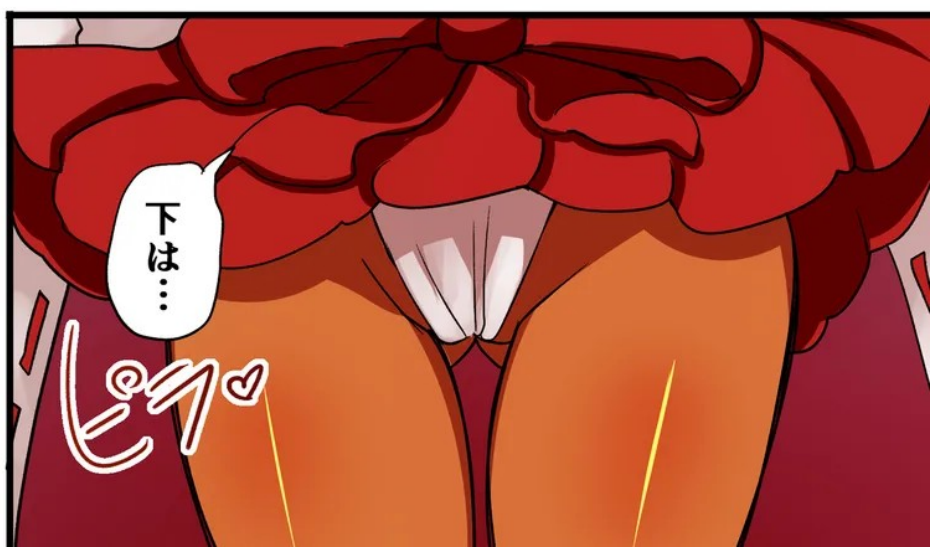
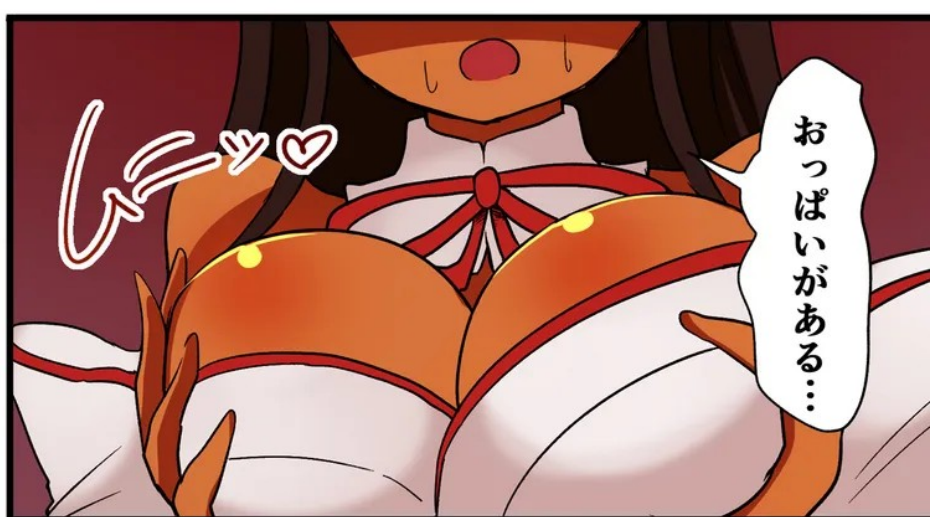
お姉さまとの生活は
穏やかで...



甘くとろける
日々ですわ







僕は走った

胸や尻尾の
違和感で
上手く走れず
何度も転んだ

それでも
走った

でも…
それでも…

無限に続く
千本鳥居を抜け出す
ことすらできない

狐狸子よ

いや…人の子よ

もうだめ

そんなに急いで
どこへ行くのじゃ

ズズズ

ズ

ズズズ

お主は…

おなご
女子で

狐で

巫女で

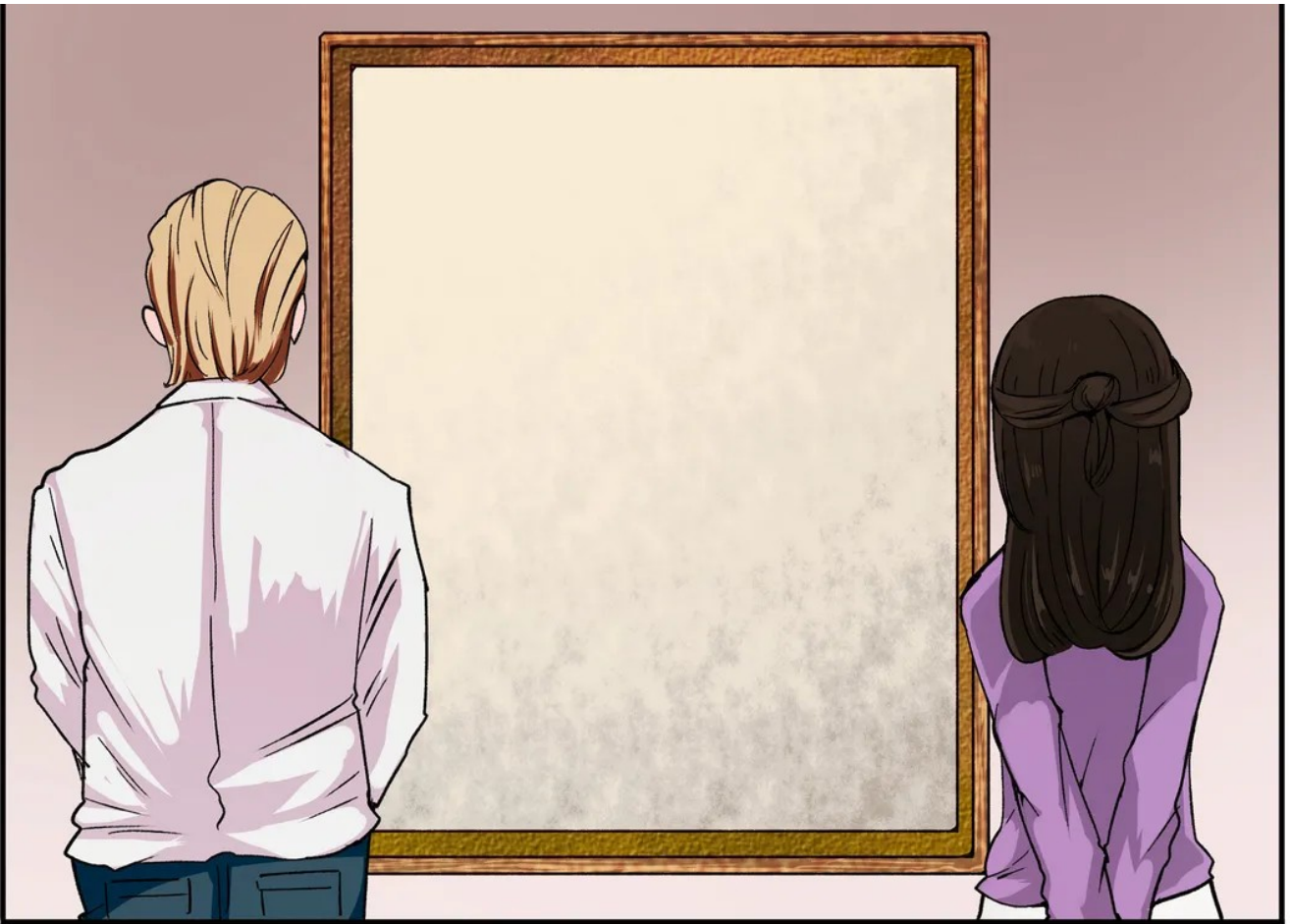
清純で

淫乱で

儂の可愛い妹じゃ

ゆめゆめ
忘れるでないぞ

ズズズ



耶雲 百合子

この名を唱えた者は絵の被写体となる



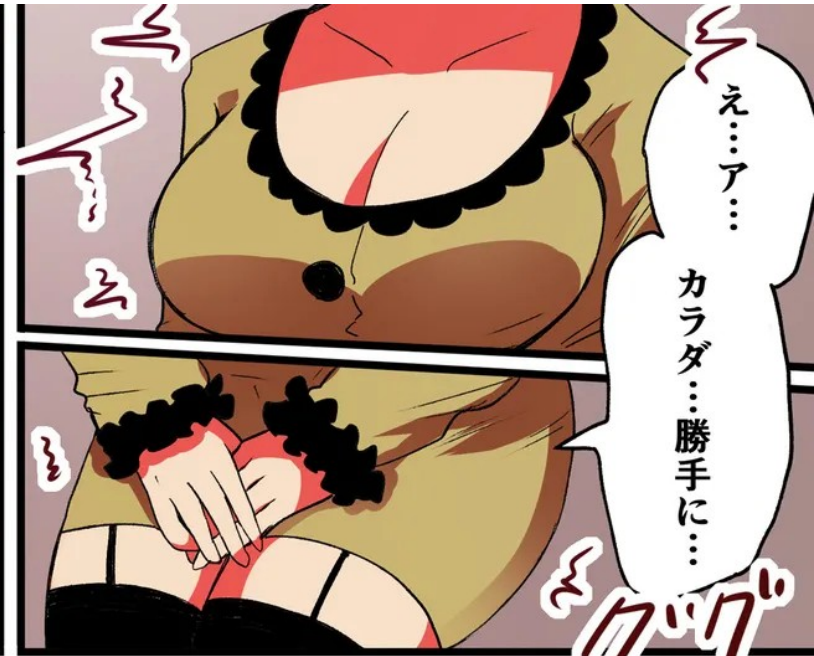
そのままの意味

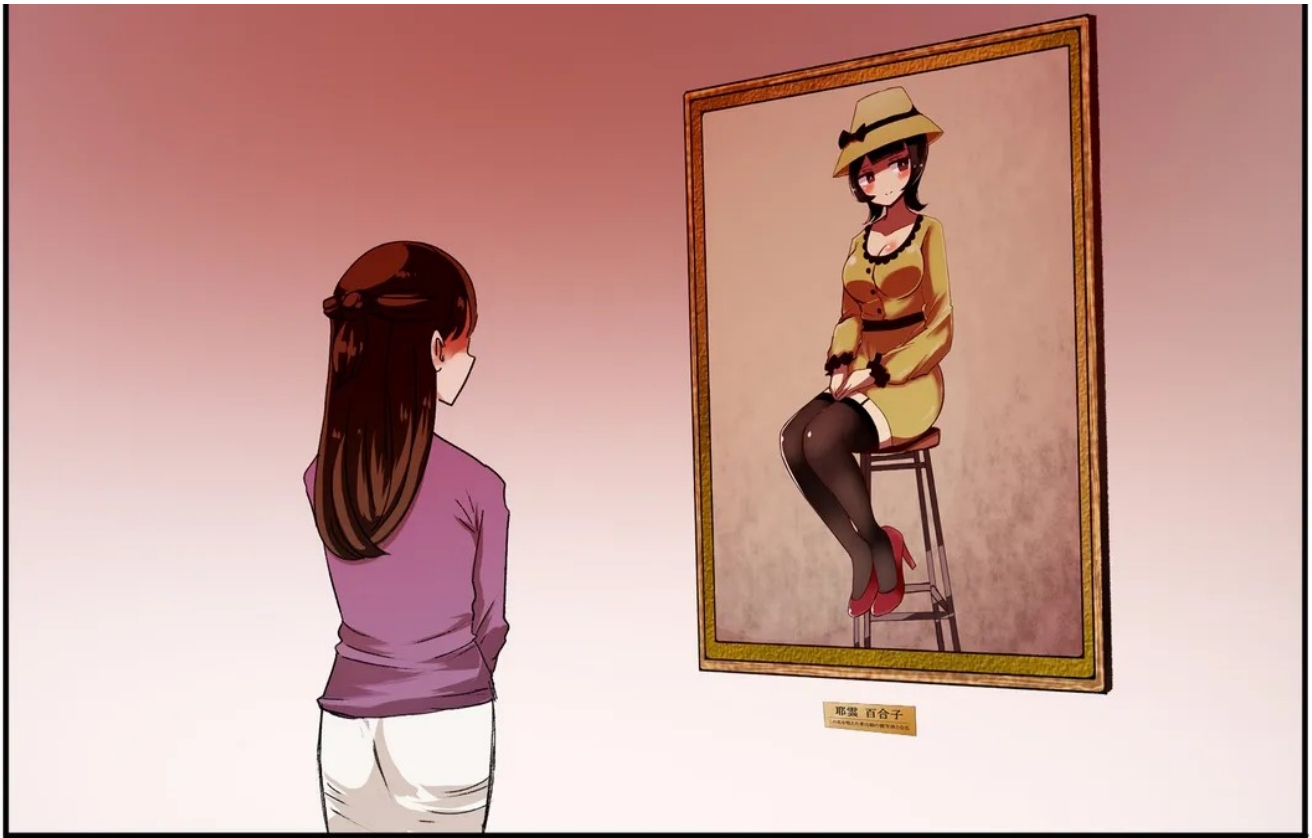


…これ
どういう意味？









ゴト...





おい
あれは何だ

気をつけろ
魔物が出るぞ
まだ出てないけど



少女の絵だな

絵...?

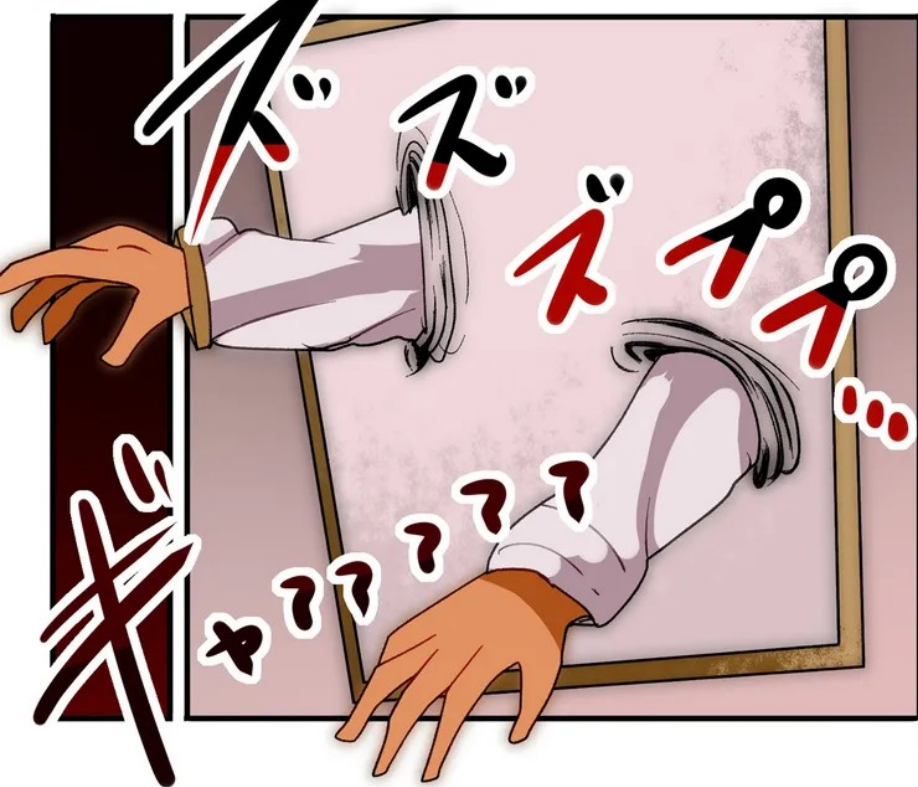
何かの罫
だったりして

なんで
こんなところに...

いやここは
ダンジョンだぞ?

そんな馬鹿な

少女





ぐ…
ここは…？

僕たちは
確か…

なんだこれ…!?
俺…女に…

胸が…
服も…変わって…

どうやら僕たちは
姿を変えられたようだ…

あの絵は
トラップだったのさ

ふさわしい姿に
なったわね

この絵に描かれた
美女として
生き続けるのよ

ふふ…
あなたたちは
絵の中にいるの

少女を倒すのは
忍びないが…

こいつは
魔物だ…
惑わされるな

あら…
私を退治する
つもり？

無理よ

キヒヒ ヒヒ

罰として
恥辱の芸術と
なりなさい

う…
体が…勝手に…

ぐ…

やめ…

はっりっ

キヒヒ

ふふ…
次の冒険者が
来るまでの辛抱よ

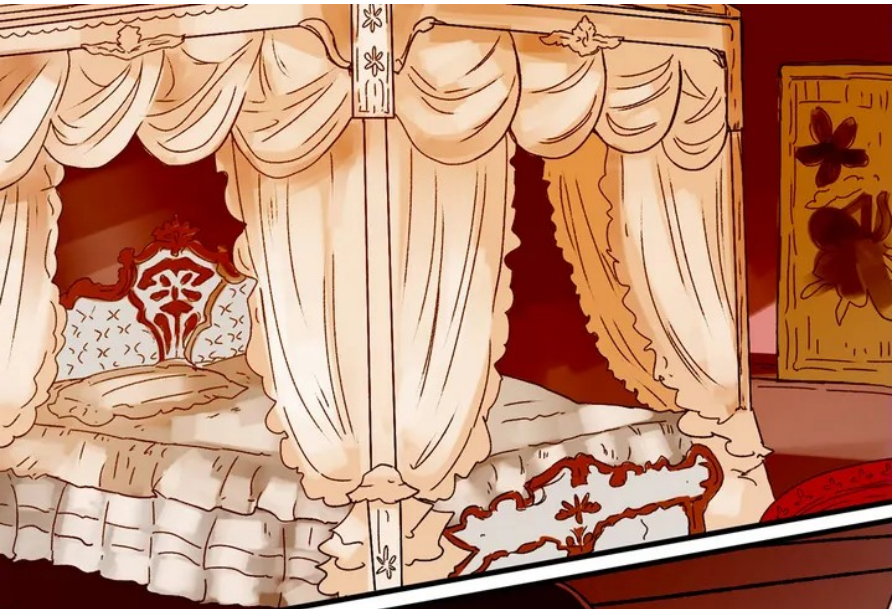


せいぜい
その痴態で
おびきよせなさいな

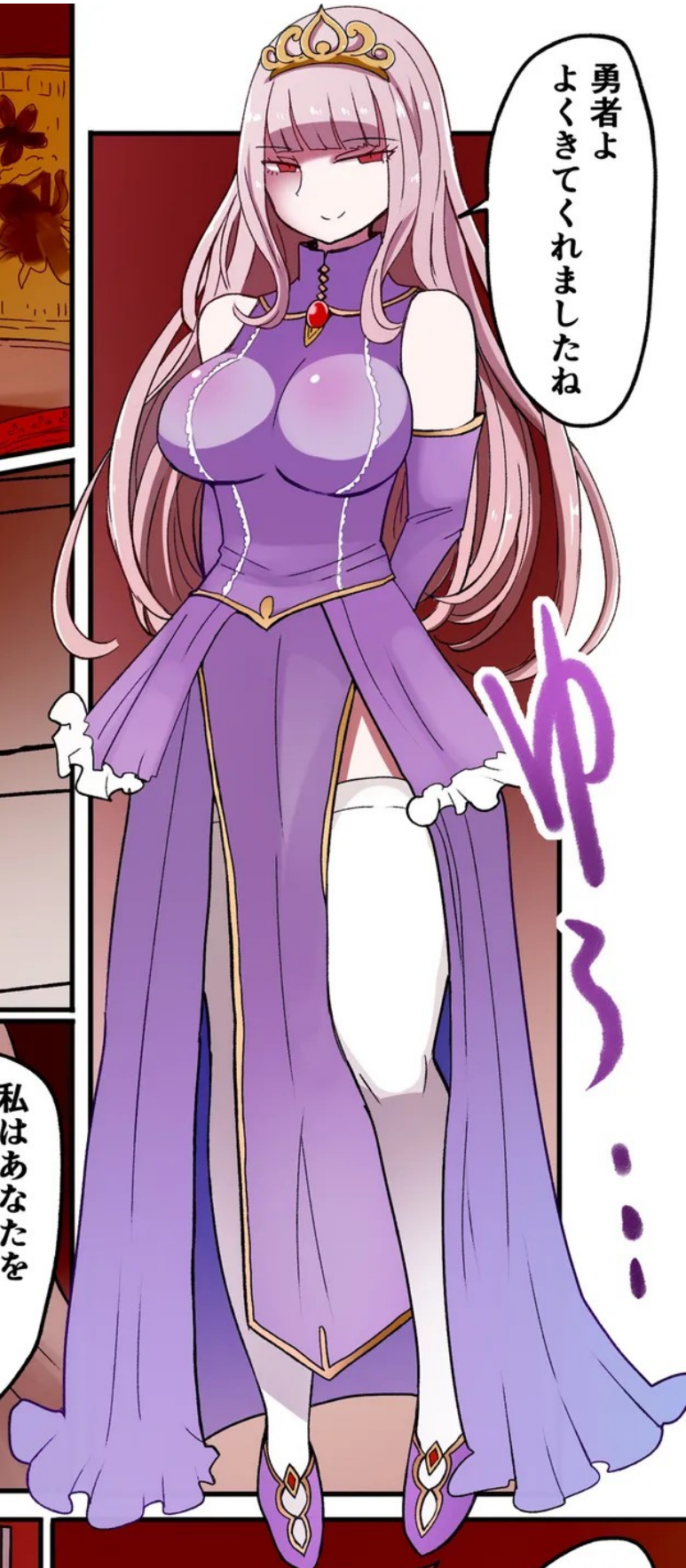
私は二百年待った
けどね…ふふふ

乱れる女たち

↑
わんわん……



勇者よ
よくきてくれましたね

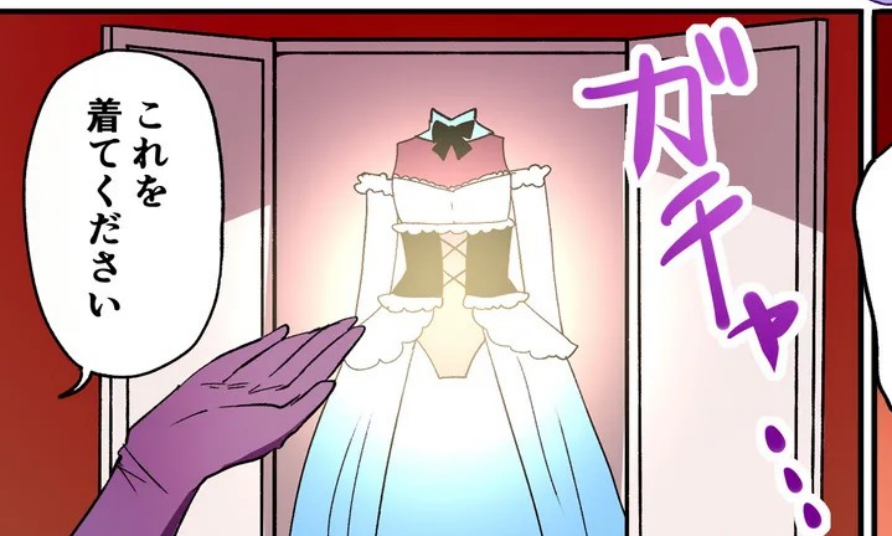


ドロテア女王様
大事な話とは



しかし私は…
おなご
女子しか愛せません

私はあなたを
信用しておる
あなたほど信用できる
人間はおりませぬ



これを
着てください

ガキヤ...



ええ…
どうすれば!!

勇者よ
変わってください



うふふ…

そのドレスは
魔法のドレスです



魔法？



女装ですか…

女王様は
これでいいのですか？

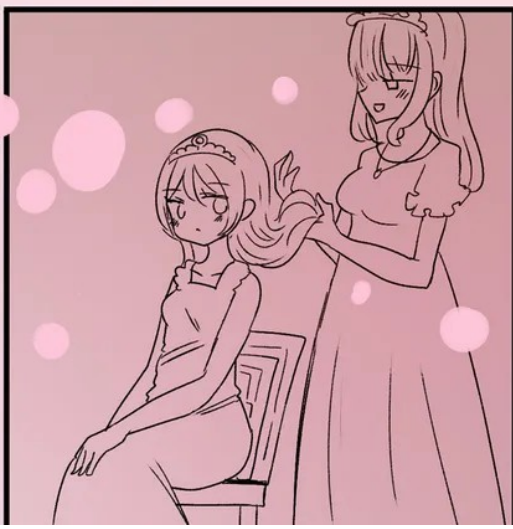
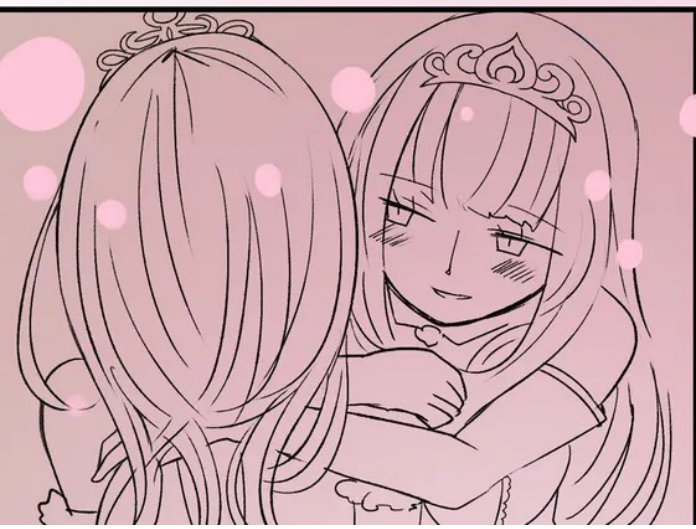


ああんっ



わっ…

おるん♡





オホホ

私は城で育った
良家の子女でしたわ

おほほほ…
お恥ずかしい

ホホ



そう…
でしたわね

...



ああ私の愛おしい
ドロテア…!!



うふ…



全身が熱いですわ…

はあはあ…
よかったですわ…

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ふふ
そうですね

何言ってますの？
私のもともと
女ですよ

どうでした？
女の快感は…



これから毎日
愛し合いましょう





ブッゴッ
ゴッ
ゴッ

覚悟しろ…
ドラゴニユート…

ふん…
勇者か…
貴様のような
小さい奴
妾に勝てると思
うな



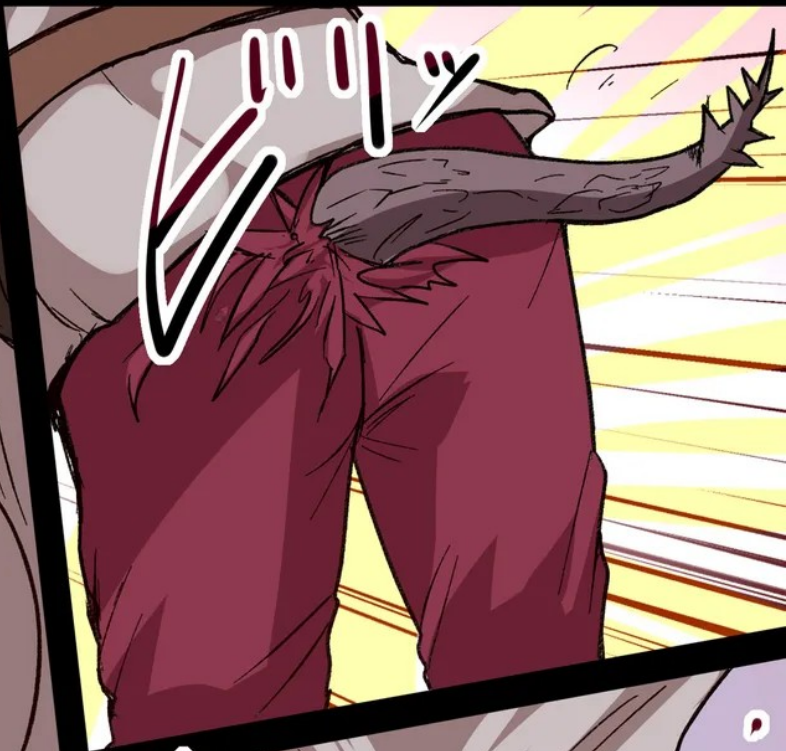
うるさい!
切り伏せる!

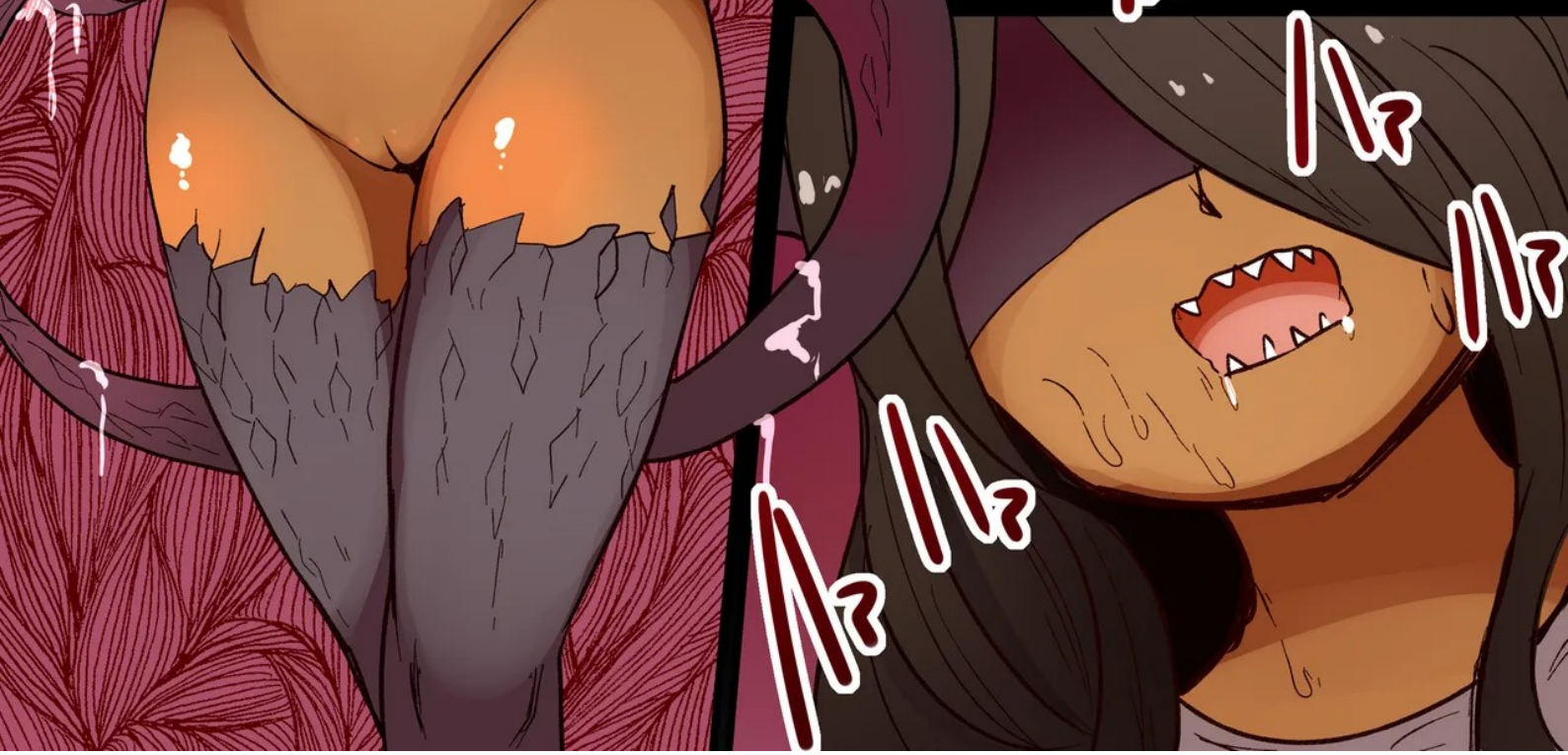


他愛ないのう

くそっ…
はなせ!

ハイッ







お前は妾の妹となるのじゃ

ふふふ...



わたしは...



そうだ...



あ...



大好きですわ

ああ...
お姉さま...



ここが…
巨大な竜女が
住まうという…



小さな
人間さん
♡

あら…
いらっしやい

山深くに棲む竜娘

多くの狩人が
その鱗や角を求め
挑んできた

多くの人間は
敗れ打ち捨てられていく

しかし
竜娘はときに
純粹な魔力を持った人間を
眷属に変えるという

男も女も
巨躯な竜の娘に
変えられてしまうらしい

数か月後

やめときな
帰ってきたやつは
いないって話だぜ

僕なら
できるぞ…



オオオオオ

オオ

ハアハア…

僕の魔法が効かない…

ふふふん
もう終わりか？



お姉さま
この子良い魔力
ですわ

私
妹が欲しい



ほう…
ならば
こやつを変えるか

何を…ッ
やめろ！



アッ♡





あ...ううあ
ああう...



ズズ
ズズ



ハハ
ハハ



やだっ...

やッ

うわー



あっ
メガネ
踏んじやった



うふふ…

お姉さま以外と
キスするのは
はじめてですわ

!?

アタシは
昔から…

そうだった…

あれ…

ようこそ…
竜族の世界へ

今日から
貴様も我らの
姉妹じゃ



ふう
やはり温泉は
いいのう



魔力が
高まりますわ



遠慮は
いりませんわ

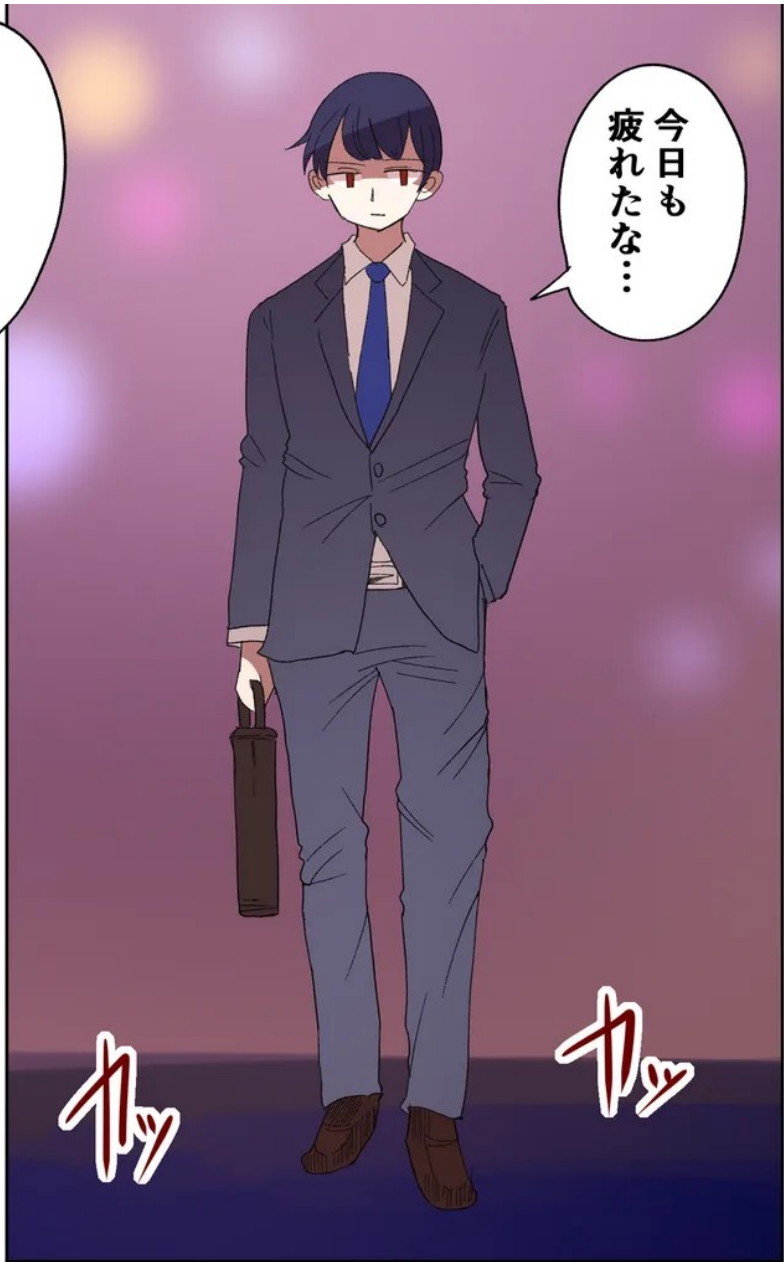
ほれ…
お前もはいれ

…



何か悩みがあるんじゃないですか？

もしもし
そこのお兄さん



今日も
疲れたな...



いや...
そんな...別に



ふふ
気に入らなければ
捨てても構いません



...この香水を
あげましょう

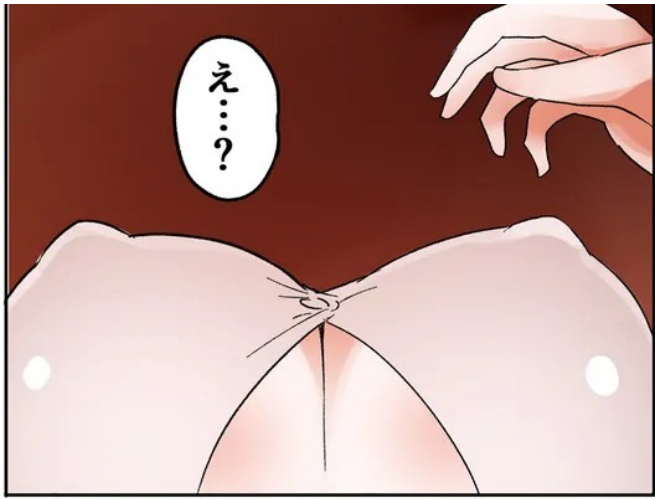


この香水...
女物だよな...

怪しい
占い師だったな







はじめ
女になったときは
びっくりしたが

朝には戻っていた

香水には
時間制限が
あるらしい

一吹き二時間ほど

使えば使うほど
その効果は
伸びていく

それから
夜は女になって
過ごすように
なった



女物の服を
買ってみましたり



ピキッ!
女性だったんですね!
エッチすぎます! 😍
おっぱい大きい... ピキッ!
自分関東ですけど
会えますか? DMします
乳首浮いてるよ~ 😎
ピキッ!



とある休日

女の姿で
出かけてみようと思
った

いつもより
だいぶ多めに
香水を吹きかけた

いつもより
体が火照ってたけど

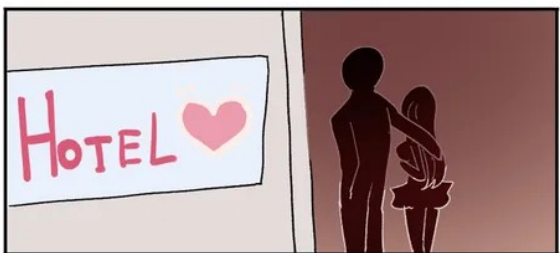
新しい世界への
高揚感で気にならなかつた

はじめて女としての
外出は最高だった

男からの視線

自分が
可愛い女の子として
街を歩いている実感

今思えば
香水の副作用で
発情していたのかもしれない



その夜
僕は女として
セックスをした



1か月後

そのこの
お兄さん♡

え…?
はい…

一緒にお食事でも
どうですか?

そのあと…♡

いいこと
しましろう♡

たよ♡